

いばらきフォローアップ問題 算数 第10回

()年()組()番 氏名

1 次の計算をしましょう。

★

(1) 4×0.5

(2) $10 - 6 \div 2$

(3) $\frac{1}{5} + \frac{1}{4}$

(4) $\frac{7}{12} - \frac{1}{3}$

2 大きい順に書きましょう。

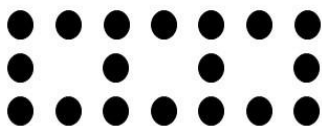
★★

(1) $\left(\frac{1}{3} \quad \frac{1}{6} \quad \frac{1}{4} \right)$

(2) $\left(\frac{10}{8} \quad 2 \quad 1\frac{3}{4} \right)$

3 下の図のように、あるきまりにしたがってご石を並べて正方形をつくります。正方形の個数と並べたご石の数を表のようにまとめていきます。

★★★★



(1) 表のア、イにあてはまる数を答えなさい。

(2) 正方形を10個つくるのに必要なご石は何個ですか。

正方形の個数(個)	1	2	3	4	...
ご石の個数(個)	8	13	ア	イ	...

思考力

4 $\frac{4}{5}$ を、下のように分子が1の分数のたし算の形で表します。

★★★★★

□にあてはまる異なる3つの整数を答えなさい。

$$\frac{4}{5} = \frac{1}{\square} + \frac{1}{\square} + \frac{1}{\square}$$



思考力

5 ようたさんたちは、 $\frac{1}{2}$ Lと $\frac{1}{4}$ Lを合わせると何Lになるのかを考えています。


★★★

式は $\frac{1}{2} + \frac{1}{4}$ になることがわかりました。



1 Lを  とすると、 $\frac{1}{2}$ Lは  と表すことができますね。



わたし私^{わたし}も、 $\frac{1}{2}$ Lを  と表して考えようと思います。

ようたさんたちは、 $\frac{1}{2} + \frac{1}{4}$ について、図をもとに考えました。



答えは $\frac{3}{4}$ Lになりました。



$\frac{2}{6}$ Lではないのかな。



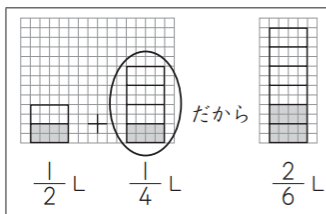
$\frac{2}{6}$ Lだとすると、 $\frac{1}{2}$ Lと $\frac{1}{4}$ Lをたしているのに、 $\frac{1}{2}$ Lより小さくなっていますよ。



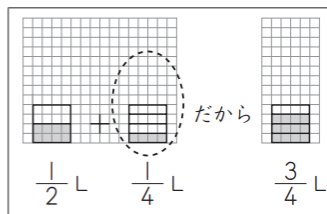
本当ですね。 $\frac{1}{2}$ Lは1 Lの半分だから、半分よりも小さい $\frac{2}{6}$ Lになるのは、おかしいですね。


はなこさんは、【はなこさんの考え】と【ようたさんの考え】を見て、【はなこさんの考え】の中の○を、【ようたさんの考え】の中の○のように直す必要があることに気付きました。

【はなこさんの考え】



【ようたさんの考え】



1 Lの大きさを  と表すとき、【はなこさんの考え】の中の○は、【ようたさんの考え】の中の○のように直さなければいけません。

【はなこさんの考え】の中の○を直さなければいけないわけを、次のようにまとめます。

【ようたさんの考え】の中の○のように、
 ㊦ Lを4等分しなければいけないのに、
 【はなこさんの考え】の中の○は、
 ㊩ Lを4等分しているからです。

上の文の㊦、㊩に入る数を書きましょう。

令和5年度

いばらきフォローアップ問題 算数 第10回 解答用紙

()年()組()番 氏名

1	(1)	(2)
	(3)	(4)
2	(1)	(2)
3	(1) ア_____ イ_____	(2) 個
4	$\frac{4}{5} = \frac{1}{\square} + \frac{1}{\square} + \frac{1}{\square}$	
5	㊦	㊧